

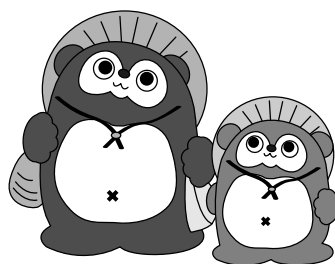
で、転移先は肺や肝臓が主です。この冬、1月から今日まで断続的に咳と痰が続き、一度は痰に血が混じっていましたが、しばらく様子を見てから受診しようと思っています。

基本的には、積極的に癌と闘わない生き方を選択したいと今は思っています。

投稿しようと思ったのは、同じような症状のある方に癌を疑ってもらい、早期発見の一助になればと思ったからです。

滋賀県でも患者・家族からの情報提供と、医療機関側からは丁寧な追跡調査による癌患者登録制度を普及させ、病院や医師の実績、治療方法の効果の有無などを、全国と共有できるようなシステムが必要と感じています。

最後に、日本の癌治療が放射線医療や緩和医療の分野でも、一日も早く欧米並みの水準となることを願っています。



「笑いを」友に

A子

「笑いは最高の抗がん剤である」・・・いのちの落語:樋口 強氏の言葉です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私はとても効果があると思っています。

がんを患う前の私は、仕事と育児と家事に追われて日々苛苛し、「怒り」の感情に支配されていました。そして手術後は風の音にも怯えて涙が出るほど不安な気持ちで過ごしていましたから「笑う」事が有効だと知っても簡単にはいきませんでした。

最初はお笑い番組を見て無理やり笑っていたのですが、少しずつ笑うことを続けていくと、重かった心がチョピリ軽くなり、「笑いを」意識しだしてからは(不思議なのですが)自然と笑えるような楽しい出来事が集まってきたのです。そうなる何だか楽しくなり、どんどん気持ちが上向いてくるのが自分でもわかりました。単純ですね。

そして今年、無事に5年を迎えられました。手術、抗がん剤、周囲の人たちの温かな支えに加えて、「笑いを」友に過ごしてきた事が大きな要因なのだと思っています。

笑って下さい。免疫力をアップして、明るく楽しく行きましょう！